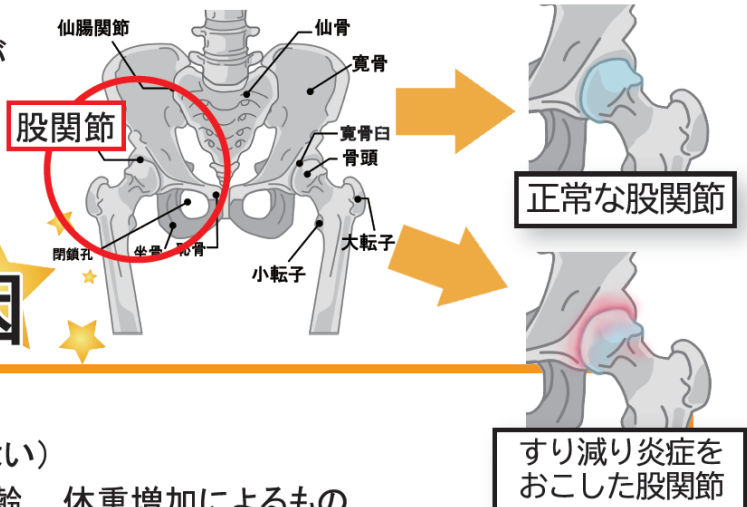


へんけいせいこかんせつしょう

その痛みは 変形性股関節症かも!?

『変形性股関節症』とは、何らかの原因により股関節の軟骨がすり減ってしまい歩行時や立ち上がりの際に股関節に痛みが生じる疾患です。

最初は歩いた時や立ち上がりの時の痛みですが進行すると安静にしている時でも痛みが強くなり日常生活が困難な状態になってしまいます。痛みがおしりや太ももに生じる場合もあります。



変形性股関節症の原因

変形性股関節症は大きく分けると

① 一次性変形性股関節症 (原因が特定できない)

・・・スポーツなど股関節の過度の使用や加齢、体重増加によるもの

② 二次性変形性股関節症

・・・寛骨臼形成不全 (股関節の形態不良) や股関節不安定性によるものの2つに分けられます。

日本では女性に多くみられ、二次性変形性股関節症、その中でも寛骨臼形成不全によるものが多いと言われています。

股関節や太ももなどに痛みや違和感が生じてきた方は変形性股関節症の可能性がります。

変形性股関節症の治療

保存療法と手術療法

すり減った軟骨を元に戻す治療方法は現時点ではありません。

治療は大きく分けると2つあり

☆保存治療

股関節への負担軽減 (体重管理や杖の使用、生活動作の工夫)、ジグリング (貧乏ゆすり)、薬物療法 (痛み止めを飲んで痛みをやわらげる) などを行い症状の進行を抑えます。

※過度な股関節のストレッチは、股関節に負担がかかるため避けましょう。

☆手術治療

自分の骨を使って手術を行う骨切り術や、変形した股関節を人工関節に置き換える手術 (人工関節置換術) があります。当院では、冷凍保存骨を用いた再置換術も行うことができます。